

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@
pluto.plala.or.jp

深刻な人口減少

将来を見据えた行政を

飯能市と名栗村が合併(平成17年1月1日)してから8年目をむかえています。

飯能市の人口は、合併時の8万4982人をピークに減少を続け、17年対比で2560人の減少、8万2422人(24年1月1日)、

7月1日現在では8万2150人です。

特に、山間部の人口減少が顕著で、原市場地区1160人減、吾野539人減、名栗403人減、東吾野364人減などとなっています。一方、世帯数は飯能

地区587世帯増、加治551世帯増、精明521増、美杉台402世帯増などで、市全体では、1963世帯増加しています。

山間5地区では世帯数、人口ともに減少しています。地区人口に占める65

歳以上人口(高齢化率)を見ると吾野地区が最も高く36.9%、続いて名栗36.3%、東吾野31.5%、南高麗30.1%となっています。

市の施策のあり方も問われてくる

高齢者福祉施策の充実には待ったなしの課題です。日本共産党が実施したアンケートでも44%が医療・介護などの充実を求めています。同時に、「足の確保」(公共交通政策)による住み続けられる地域づくり、子ども医療費完全無料化など子育て環境の整備で、住みた

入する条項まで盛り込まれましたが、この間の闘いが、民・自・公3党は追いつめています。再来年4月の消費税増税の実施までには総選挙も参院選挙もありです。国民の審判で最大の増税論を断罪し、増税を中止に追い込もうではありませんか。日本共産党飯能市議団は、その先頭にたって頑張る決意です。

消費税増税阻止闘いはこれから

日本共産党飯能市議団

民主、自民、公明の3党が消費税増税法案の成立を強行しました。法案の衆院通過後も国民の過半数が法案そ

のものに反対しています。10%への消費税の倍増は、すべての国民の暮らしとすべての中小企業、零細業者の営業を脅かし、脆弱(ぜいじゃく)な内需に決定的な打撃を与えます。国民の多数が反対し、

きわめて重大な結果が想定される法案を、3党は国民に隠れ、密室談合をくりかえして押し通しました。

民主党政権は「消費税の増収はすべて社会保障に充てる」と説明してきました。しかし政府が社会保障と税の「一体改革」に盛り込んだのは、年金給付の削減、年金支給開始年齢の引き上げの検討、医療・介護の負担増などです。増税法案には法人税のいっそうの引き下げと増税法案には増収分を公共事業に投

初めて国会を傍聴して

私は、原発、消費税増税問題で国民の声を無視した政府の対応と民主・自民・公明三党の密室談合に怒りでいっぱいでした。そんなとき、国会要請行動があると聞いて行ってきました。初めて国会も傍聴しました。衆院、参院と2日間に渡り、傍聴してきましたが、国民の声が届かない国会を肌で感じてきました。原発は知らない、消費税増税も困るという声を聞かない野田総理は、国民の中で不信任だと思います。国会が国民の命と暮らし、弱者を守る砦になるよう、やはり日本共産党を大きくするしかないと感じて帰ってきました。小藤正子

	17年		24年	
	世帯数	人口	世帯数	人口
飯能地区	8,530	21,900	9,117	21,812
精明	6,095	16,763	6,616	16,513
加治	7,296	20,155	7,847	19,846
美杉台	1,684	5,093	2,086	5,875
南高麗	901	2,689	898	2,392
吾野	1,092	2,945	1,025	2,406
東吾野	845	2,540	826	2,176
原市場	3,218	9,545	3,173	8,385
名栗	955	2,612	931	2,209
飯能市	30,616	84,242	32,519	81,614

	高年齢率	世帯増減	人口増減
	飯能地区	24.1%	587
精明	22.2%	521	-250
加治(美杉台含)	20.7%	551	-309
南高麗	30.1%	402	782
吾野	36.9%	-3	-297
東吾野	31.5%	-67	-539
原市場	21.9%	-19	-364
名栗	36.3%	-45	-1160
飯能市	23.5%	-24	-403
飯能市		1963	-2560

くなるような街づくりも重要です。

山間部は勿論のこと、市街地でも「空き家」が目立っているなかで、「空き家」「バンク制度」なども求められています。

市がこれまですすめてきた12万人都市構想に基づき、県水増量計画の見直しも求められるのではないのでしょうか。

「百太郎騒ぎ」は確か吾野宿の傾きかけた旅館屋が舞台で、飯能の地酒の樽を舞台に置きたいというところで、「天覧山」の酒樽を酒造元から届けていただいたこともありました。原作は長谷川伸、吾野宿に逗留していたこともあるのだろうか。秩父の源五郎という悪い親分も登場するので、長谷川伸は吾野宿の旅籠で構想を練っていたのかもしれない。その吾野宿でのお祭り、行ってみたいな。

波紋

お盆になると、亡くなったいるんな人のことが昨日のことのように浮かんできます。「吾野宿まつり」のチラシを見ていたら、ずっと前に亡くなった、市議員をしていたこともあるTさんが突然あらわれて「帰省のときは、飯能から馬車に乗って吾野まで帰ったものですよ」としみ話してくれました。「前進座」が「百太郎騒ぎ」を演じたときも、Tさんと一緒に見に行っただよふ記憶があります。

「百太郎騒ぎ」は確か吾野宿の傾きかけた旅館屋が舞台で、飯能の地酒の樽を舞台に置きたいというところで、「天覧山」の酒樽を酒造元から届けていただいたこともありました。原作は長谷川伸、吾野宿に逗留していたこともあるのだろうか。秩父の源五郎という悪い親分も登場するので、長谷川伸は吾野宿の旅籠で構想を練っていたのかもしれない。その吾野宿でのお祭り、行ってみたいな。

学校・保育所給食等の放射線物質の測定結果

給食食材、自家用野菜、学校校庭、保育所園庭を測定 高い値は検出されませんでした。

施しています。

平成24年5月17日から8月1日までの間に報告があった空間放射線量の測定結果は定期監視測定10施設10地点、保育所11施設42地点、つばみ園6地点でした。給食の測定については、7月24日から8月2日までの間で学校2施設、保育所11施設を実施しました。

市民向けの放射性物質測定について、7月24日から8月6日までの間で8品目12検体を実施しました。

測定結果を別紙のとおり報告します。

飯能市は、市民の安全安心の観点から、より細かな放射線量及び放射性物質の測定を

声

縁故米なども放射線の測定を

私の実家は北関東で原発の放射線の影響は飯能よりはるかに大きい場所です。その実家から時々お米を送ってきます。孫たちと同居しているのので心配で食べ

させられません。

飯能市が放射線測定器を購入したと知ったので、市に測定依頼をしたところ対象は市内で採れたものに限って市外は受け付けないとのことでした。

実家では米は出荷していないので測っていないのでぜひ測定してもらいたいとお願ひしたところ、「検討したい」とのことでした。

安全な農産物を子どもたちに食べさせたいという願いに応え、田舎や地方から送られてきた出荷していない野菜や米などの農産物を市内の物に限定しないで測定して欲しいと思います。

期間	測定品目	数	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
7/24 ~8/6 測定分	じゃがいも	5	不検出	不検出	不検出
	大根	1	不検出	不検出	不検出
	ぶき	1	不検出	不検出	不検出
	きゅうり	1	不検出	不検出	不検出
	ブルーベリー	1	不検出	不検出	不検出
	米	1	不検出	不検出	不検出
	沢水	1	不検出	不検出	不検出
緑茶	1	不検出	不検出	不検出	



学校・保育所	測定日	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
原市場中学校	7月24日	不検出	不検出	不検出
加治小学校	"	不検出	不検出	不検出
第一保育所	8月2日	不検出	不検出	不検出
第二区保育所	"	不検出	不検出	不検出
八幡保育所	"	不検出	不検出	不検出
原市場保育所	"	不検出	不検出	不検出
浅間保育所	7月31日	不検出	不検出	不検出
加治保育所	"	不検出	不検出	不検出
東吾野保育所	"	不検出	不検出	不検出
吾野保育所	"	不検出	不検出	不検出
美杉台保育所	7月26日	不検出	不検出	不検出
加治東保育所	"	不検出	不検出	不検出
第二区保育所	"	不検出	不検出	不検出
富士見保育所	"	不検出	不検出	不検出
八幡保育所	7月24日	不検出	不検出	不検出
第一保育所	"	不検出	不検出	不検出

「不検出」とは、放射性物質が存在しない、又は検出限界値未満のことを示す。検出限界値は飲料水・茶は5bq/kg、一般食品は10bq/kgです。

名栗

諏訪神社獅子舞

8月25日(土) 26日(日) 例大祭

この獅子舞は、県指定の無形民俗文化財。獅子舞の担い手は保存会、会員は100名超。

小学2年生から80代まで幅広い年齢層が一堂に会し、新たな来住者や女性の積極的な参加もあるそうです。

吾野宿まつり

8月25日(土) 15時

古い宿場町の雰囲気を残した吾野宿を毎年夏に、「吾野宿まつり」として開催。

大道芸、一弦琴、大吉ライブ、アフリカ民族太鼓、和太鼓、歌謡ショウ、よさこい踊り、花火大会など多彩な催しがあります。

市政のことがよくわかると評判 「新飯能」読者会開く

日本共産党飯能市委員会の地域政治新聞「新飯能」読者会が12日開かれました。

今年「新飯能」の発行から40周年の節目の年、榎本孝次編集委員は挨拶で、カリ版の時代から現在のパソコンまでいろんな人の努力があつて1834号を迎えることができた。最近印刷も支部が輪番で行えるようになったが、やもすれば議会中心の「新飯能」にもっと地域の話題や、読者の声が載せられるようにしたい。そのためにみなさんの感想や意見を出してほしいとのことでした。

山田利子市議の司会



でなごやかに進行。出席者からは、お墓のことと心配していたので年金者組合の共同墓地の記事には助かった。これから生活に密着した記事を書いて欲しい。市の放射線測定の結果が記事では「不検出」と市の発表通りになっていないが、これでは放射能がゼロという誤解を生んでしまう。汚染前との比較でどうかが大事故だと思つて。怒れる75歳の主婦」という、介護保険料の30%引き上げと後期高齢者医療保険で年金の3か月分が消えてしまうという記事を載せてもらったが、このような読者の声をどんどん載せられる「読者の広場」を設けて欲しい。「新飯能」を地域に届けているが、市政のことがよくわかると感謝されている。支部に「新飯能」の担当者をおいたらどうかなど活発な意見や要望が出されました。